

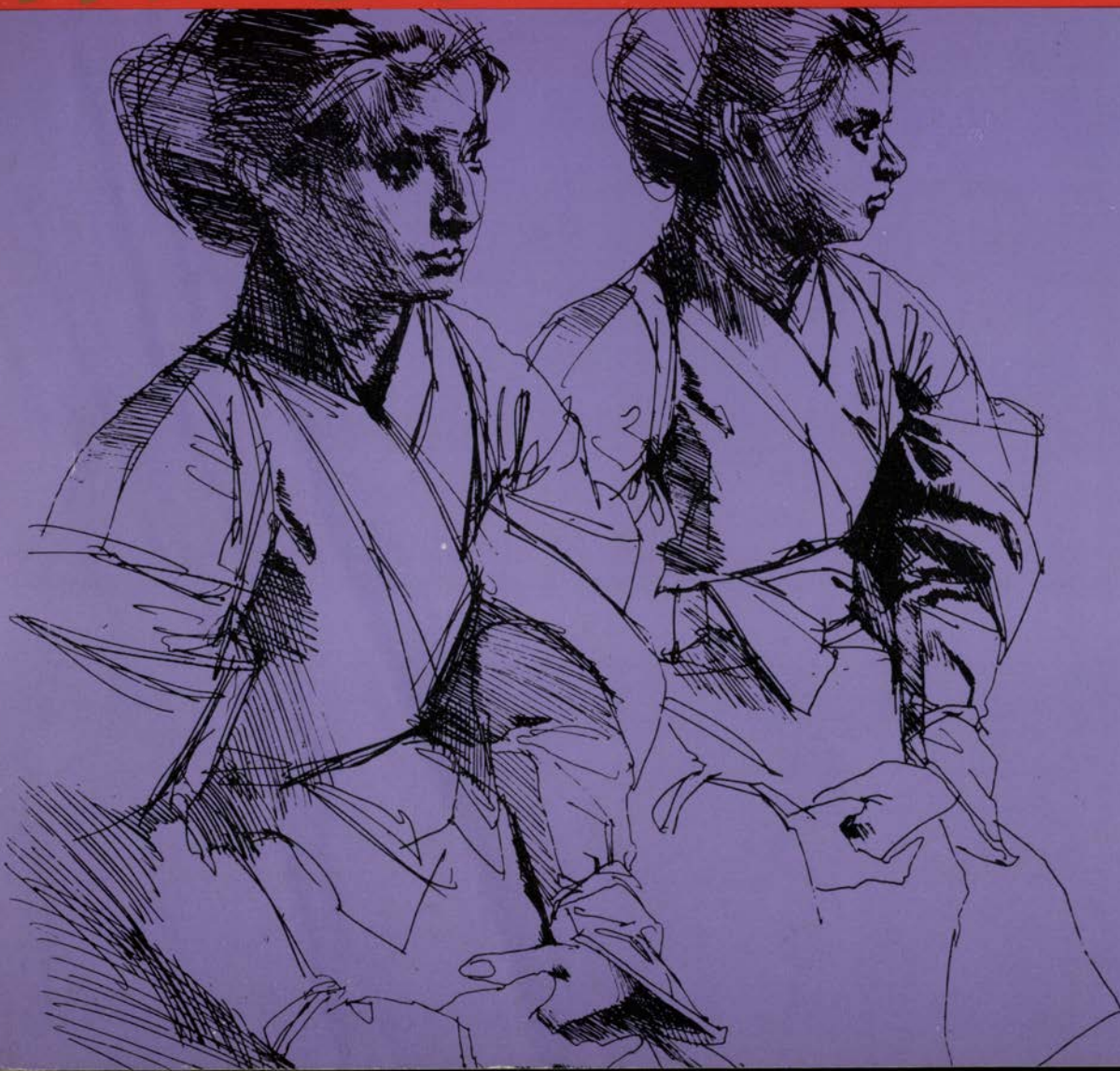
★郷土を愛する人々の雑誌★

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可 昭和44年1月1日印刷 通巻93号 昭和44年1月1日発行 毎月一回

# 神戸っ子

the kobekko no.93 January 1969

1



# MIKIMOTO

訪問着を着る機会が  
多くなる季節です  
きりりとしめた帯に  
優雅に輝く  
ミキモトパール  
さりげなく装ってください  
それが奥ゆかしい  
おしゃれの方法です



御木本真珠店

神戸店 = 三ノ宮 - 神戸国際会館

Tel. 22-0062

大阪支店 = 堂島 - 新大ビル

Tel. 363-0247

京都 = 京都ホテル・京都国際ホテル

大阪 = 阪神・高島屋・松坂屋

本店 = 東京 - 銀座 4 丁目



凍魚

凍魚ら 斑らに 煤け 眼も 鉄道と

凹み 地図は 海鳴りの 祭日に

皺の実を 捲る 猫の眼

絵+詩 津高和一



W. H. Taka



000000

# 賀正

— 969

美しさを創るオートクチュール

アスターニエートン

神戸アロード TEL 1818

1858

大阪阪神 TEL 1201

<33><361>

# ●神戸っ子'69

竹里早代

〈宝塚歌劇団・雪組〉

カメラ・米田定蔵

宝塚は孔雀の街だ。華美に嬌声に恍惚となったものの歴史がある。その古い伝統から選びぬかれた新人がでる。竹里早代。雪組在籍。音楽学校時代、社長賞を受け、昭和四十二年の「おてもやん」で、見事にオーディションの難関を突破して抜擢される。

鶴の掛軸を背にすると、閑静な一室に花が咲いたようだ。淡いピンクの鹿の子絞りが、サッチャーの雰囲気をつくる。茶目ッ気で、日舞が藤間勘早知という名取りであるのが、彼女を舞台で生かしているようだ。

朝から晩まで練習で、神戸に出るといつも食べ歩きねと眼を輝かせた。阪急沿線、岡本に住む。

写真は、いずれも自宅





# TASAKI PEARLS



あけまして おめでとう ございます

## 田 崎 真 珠

本 社・神戸市萫合区旗塚通6-9  
三 宮 店・神戸新聞会館秀品店内  
パールファーム神戸・神戸市灘区六甲台町24  
銀 座 店・東京都中央区銀座西6-5  
パールファーム・溜池電停前(ショールーム)  
ヒルトン店・東京ヒルトンホテル内  
オ ー タ ニ 店・ホテル・ニューオータニ内  
札 幌 店・札幌パークホテル内

あなたの真珠はパール・マークのお店で  
日本真珠小売店協会加盟店



# ●神戸っ子'69

滝川博司

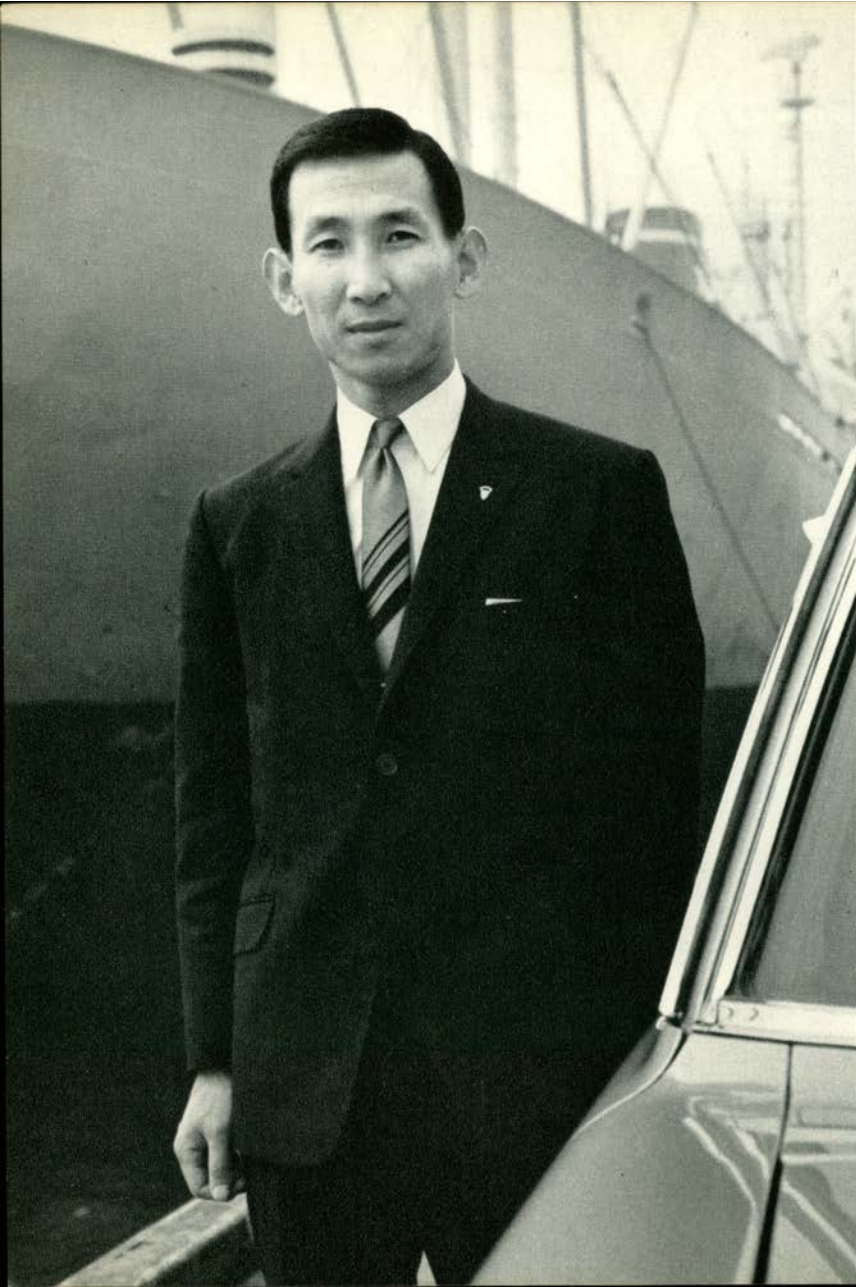
〔昭和四十四年度  
神戸青年会議所理事長〕

カメラ・米田定蔵

神戸JCは、地域社会におけるオビニオンリーダーとしての責任に燃えて、次々と新たな提案を試みてきた。今年度は、今までの提案を具体的にフォロー・アップする年です。十一年目を期して社団法人に改組されるのを契機に、空港につながる都市圏などに通じるプロジェクトの地道な活動と、その集大成の時期をむかえています。兵庫トヨタ自動車取締役という要職にありながら、地元への尽きせぬ愛着は、神戸生まれ、神戸商大という根っからの神戸っ子であるからだろう。

スマートなプロポーションは、学生時代からの陸上競技のたまもの。三十五才。

写真左・摩耶埠頭にて。写真下・オリエンタルホテル・定時総会での挨拶



世界最高の高価な香水

JEAN PATOU



ジャン パトー社 日本総代理店

Blanc de Blanc

ブラン ドゥ ブラン

神戸市生田区北野町1丁目64

PHONE : 22-5490





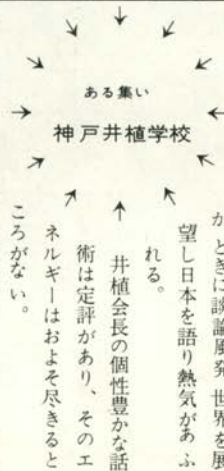
井植歳男会長《三洋電機》を囲む会は六年前大阪で誕生した。

この集いは大阪の気鋭の若手経済人が直接、井植歳男三洋電機会長の人柄に触れて経済人としてのエネルギーを貯えようという意欲的な会合であった。

その人、井植会長はいま、兵庫県教育委員の一人でもあるし、神戸塩屋に住んでおられる。

そして井植会長は青年経済人のよき理解者であり、視野の広い指導者でもある。神戸の若手経済人の強い要望で井植会長を迎え、神戸井植学校をお願いしようということになり昨年八月開校し、この集いが生まれた。

和気あいあいとした会合であるが、ときに談論風発、世界を展望し日本を語り熱気があふれる。



神戸井植学校のメンバーは新鋭の若手経済人でそのエネルギーを真向に受けとめている。

こういった会合から21世紀に向かう神戸のエネルギーが生まれてくることを期待したい。

★写真は 前列左から

秋田博正《神戸J.C初代理事長》

原口忠次郎《神戸市長》

井植歳男《三洋電機K.K会長》

鈴木栄次《日本銀行神戸支店長》

角南猛夫《角南商事K.K社長》

石野成明《石野証券K.K社長》

小田欽造《三ツ星ヘルトK.K常務》

後列左から

大塚朗《大塚鉄工所専務》

牛谷頼介《大阪市都市計画研究室》

滝川博司《ウシオ工業K.K社長》

小林博司《兵庫トヨタ自動車K.K取締役》

上島達司《小林桂K.K専務》

小津雅敏《上島珈琲K.K副社長》

小泉康夫《神戸金剛工業K.K専務》

欠席者 《神戸フ子編集長》

岡崎真雄 《同和火災海上保険常務》

●賀春●



＜本格派の人々に愛されるヨシオカの靴＞

★靴のオーダーメイド

**ヨシオカ**

神戸店——大丸前／TEL 33-5190・9763

東京店——東急百貨店／渋谷 462-3436(直)

日本橋 211-0511(代)



★コウベ・スナッパ 躍進する神戸・ただいま建設中

人口一二四万、美しい自然の中で生きる神戸は、迫りくる情報産業時代への一大布石として、神戸商工貿易センターを建設中。地上26階、地下2階、地上26階で西日本最大の超高層建築。商工貿易業務の殿堂として、躍進する神戸に雄姿を見せた。今年十月竣工予定。



人類の故郷である海は、神戸人の第二の故郷だ。ポート・アイランドへの神戸大橋は、ただいま建設中、全長1652mでダブルデッキ構造となる。



海は埋立て、市街地は地下へ。三宮市街地改造のCブロック、地上10階のショッピングビルの建設中。アーケード内で織りなすさわめきをよそに、黙々とタンブカーが暮る。

村田\*真珠/銀座山岡\*毛皮/舶来婦人服飾



ム・ラ・マ

さんちが\*レディスタウン\*TEL 39-3886-7

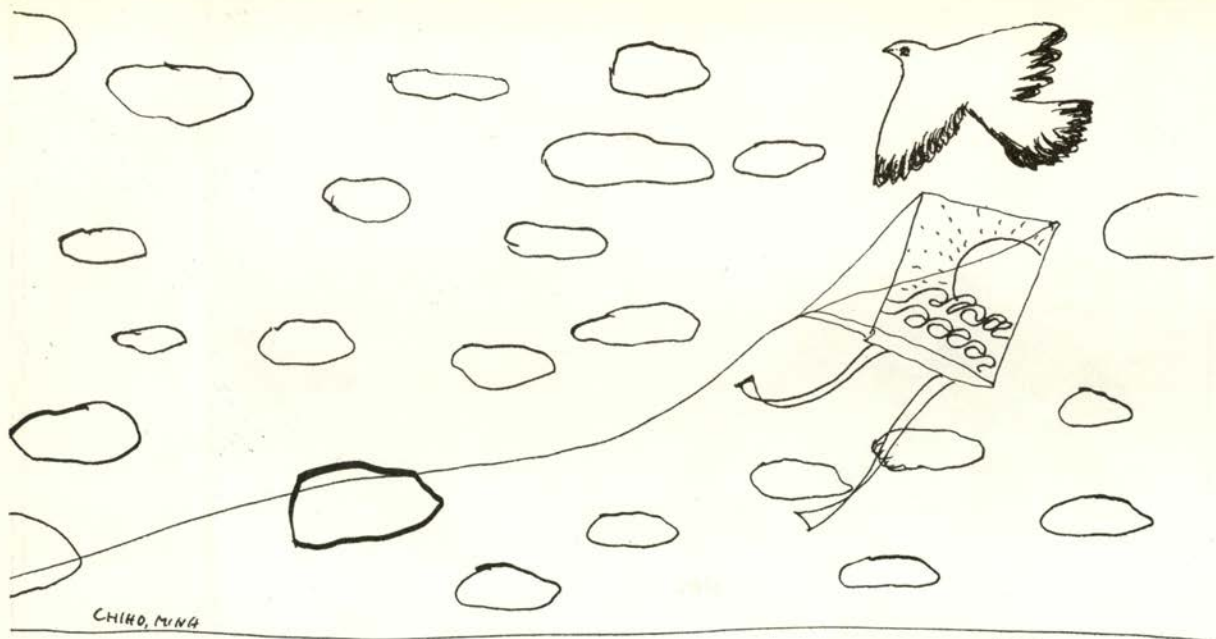
有限会社・タイグレス

神戸店・神戸市生田区山本通り4-97村田真珠本社内 TEL (078)23-1212-6  
東京店・東京都中央区銀座8-2山岡毛皮店内 TEL (03)572-0021-2

はつはるの およろこびを もうしあげます 1969年







## ● 1月号目次

これは神戸を愛する人々の手帳です  
あなたのくらしに楽しい夢をおくる  
神戸を訪れる人々にはやさしい道しるべ  
これは神戸っ子の手帳です

表紙——小磯良平

- |     |                                |
|-----|--------------------------------|
| 1   | Second Cover / 津高和一            |
| 3   | 神戸っ子 69 / 撮影—米田定蔵              |
| 9   | ある集い / 「神戸井植学校」                |
| 13  | コウベ・スナップ / ただ今建設中              |
| 15  | 随想三題 / ヘボ基と企業と創作と・藤本敬八郎        |
| 18  | ある集い・その足あと / 「神戸井植学校」          |
| 21  | 随想 / 神戸に想う・岡崎忠                 |
| 23  | 随想 / アジア新聞セリナー・畑專一郎            |
| 25  | 連載随想・Rocking Chair             |
| 29  | 新春対談 / 原口忠次郎神戸市長               |
| 34  | 井植歳男三洋電機KK会長 司会 / 牛尾吉郎         |
| 37  | 経済ポケットジャーナル                    |
| 44  | 神戸のアーバンデザイン / 水谷顕介+            |
| 46  | CINEMA ⑧ / 淀川長治                |
| 50  | 動物園飼育日記 / 島の素顔・亀井一成            |
| 60  | ある日のモールド / 1月 / 福富芳美           |
| 73  | 特集座談会 / 世界を駆ける神戸のレディたち         |
| 82  | 平松純子・沢松順子・和子・松蔭ゆりか他            |
| 85  | 松の家五十周年を祝う会                    |
| 86  | 神戸遊戯誌 / バスケケットボール              |
| 90  | マダム・ド・コウベ / 12 / 星野富士子 / 竹田洋太郎 |
| 92  | ヘンなページ / 少量殺人事件 / 向井修二         |
| 96  | ポケットジャーナル・花時計                  |
| 100 | 連載物語第十六回・非悪童物語 / 足立巻一          |
| 110 | 連載小説 / 兵庫の女 / 三十五回 / 武田繁太郎     |
| 116 | 海・船・港 / ①スコッチと船長               |
| 120 | カメラ歳時記 / 1月 / カメラ / 緒方しげを      |
|     | カメラ / 米田定蔵                     |
|     | レイアウト・カット / 港野千穂               |

謹 賀 新 年

1969年1月1日



“六甲オリエンタルホテル”

水越松南画伯

六甲オリエンタルホテル    オリエンタルホテル

神戸市東灘区六甲山上

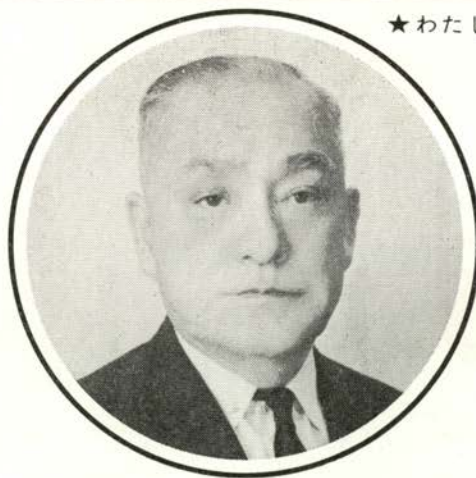
TEL 神戸 (078) 89-0333

神戸市生田区京町25

TEL 神戸 (078) 33-8111



## 神戸が新時代の リーダーシップを



平井泰太郎

＜神戸大学名誉教授＞

今、たまたま三浦環をテレビでみて、一九二五年頃のフランクフルトを思い出したところだ。世界の経営学界の第一回会合がプラハで行なわれ、後のチェコ大統領マサリック、アメリカ大統領のフーバー氏らと共に参加しました。この会合が来年、東京の国立劇場であるので現在、準備に追われています。

昨年十月、兵庫県文化賞を貰いましたが、日本からこのような賞を貰うのは初めてですね。世界で仕事をしているせい、パリ、ジュネーヴ、ウィーンから名誉市民の称号をいただきました。神戸の街という枠にこだわらず、万国博を控えて大いに世界に羽をのばして、能力を発揮することが大切ですね。

私は神戸生まれで、神戸小学校、神戸一中、神戸高商と、名実共に神戸っ子です。昔は、元町、栄町、海岸通を元栄海といいましたが、あのあたりは変わっていますね。地元では、兵庫県、神戸市の顧問をしたり、また神戸大学に経営学部を設けたり、また商工会議所での講演会など、兵庫県の海外発展に関する仕事にも関係し、現在、ブラジルに大学を設立する案が私の所に持ちこまれています。神戸は港と共に生きてきた街ですし、神戸の経営者も、地域的セクショナリズムにこだわらず、直接世界に雄飛するぐらいの気概がほしいと思います。

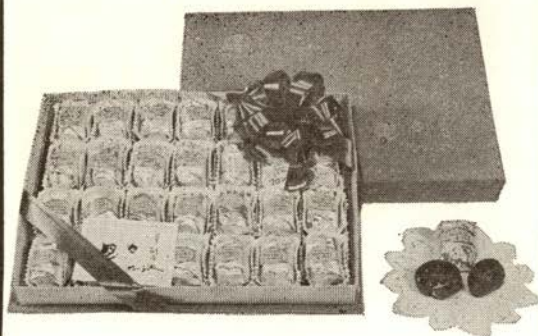
神戸は大きなビジョンに沿って前進している街です。神戸っ子はその中で、次々と新しい構想をうちだし、神戸が日本の新時代への革新のリーダー・シップをとるにふさわしい、と思います。ポート・アイランドや、明石架橋の構想は、かなり前から考えられていたことです。現在では一歩進んで、大阪湾の埋立てなど、瀬戸内海の利用が問題になるでしょうね。瀬戸内海は、日本の大きな運河です。世界の貿易港の発展状況をみますと、神戸が、瀬戸内海全体を一つの港にしたときの中核機能を果たして貰いたい。

淡路の国際空港ができる将来には、神戸が世界の情報網の中心として位置することでしょう。

パリの味!



# ヒロタの マロングラッセ



姿といい、味、色艶にフランス菓子の  
優雅な華麗さをそのままお伝えします。

## 洋菓子の ヒロタ

元町店 三宮店 さんちか店 秀品店 そごう店

33-2340 32-1227 39-3474 23-2312 22-4181(代)



# クラウン スーパー デラックス



## 兵庫トヨタ自動車株式会社

本社	神戸市長田区北町2丁目5	神戸	(078)56-5051
尼崎営業所	阪神国道玉江橋東	大阪	(06)481-9501
西宮営業所	阪神国道北今津東	西宮	(0798)33-3571
東神戸営業所	阪神国道大石川東	神戸	(078)86-5471
三田営業所	三田警察署南50米	三田	(07956)6301
神戸営業所	国鉄兵庫駅南50米	神戸	(078)68-6781
姫路営業所	神姫国道市川橋東	姫路	(0792)23-2781
豊岡営業所	豊岡市泉町13-27	豊岡	(07962)4174

## 随想三題



### ヘボ基と企業と 創作と

藤本敬八郎

〈カットも〉

△彫刻家△

友人のHとは十年來の基敵である。対局中に駄洒落、古川柳から世間話しの類がやたらと飛びかうのが常である。不思議なものでHと私との上達？ふりは実にテンポを同じうしている。彼の指す手は私の置きたい石であり、落とし穴や罠は容易にお互が発見してしまい、ゲラゲラと不徳の笑い声を発してなかなかうまい手には乗って来ない。初心者の陥る手は同じ所で陥ることと相成る。基に興味を持ちはじめ、いろいろな初心者と指し合ってみるに、どれも同じ

へまをやったり、待ったをかけた、考える範疇は実に五十歩百歩である。一人ぐらいわれわれと隔たる手を打つ初心者はいないものか？

普遍的人間は考察力も普遍的である。社会は案外と普遍的なものの上に成り立っていることが多いから、この普遍氏は普遍妥当性を持って生活していくことが容易である。しかしこの普遍氏に容易ならぬ問題が要求されるのも現実の世間というもののようである。

彼H氏と私は次のような対話を始めた。ここでH氏の名譽のために釈明しておくが、決して(civil)な新製品や企画を手掛けている訳ではない。ちなみにH氏はM製菓企画室長であった。

H「ある電器会社が冷蔵庫を後進

国に輸出を考えた」

私「それは当然の開発プランだろう」

私の頭には南国のつきぬけるような空と、透き通る海底の砂が浮かんでいた。

H「君ならどのへんに売り込みをかける？」

私「そうさね……南の国……セレベスやボルネオそれにアフリカあたりはどうか」

最も普遍的答案である。この最大公約数的解答は外れたのである  
H「そんなのは誰だって考えつく案だよ。実は寒い国へ売り込む寸法だ」

私「なる程、それじゃソ連……？  
しかしこの国へ売り込むのに目の色を変える程のこともあるまいに」

寒冷地に冷蔵庫は不必要と考えるのが最大公約数的考察で、今や企業の成功は誰でも考えつくような公約数ばかりをはじき出していたのでは敗者不適合と相成るとさとされた。

H「エスキモーに売りつける」  
私「エスキモー？彼等は天然の冷蔵庫を持っているし第一食料が腐る心配などないよ」

私にはまだ判っていないかった。

H「冷蔵庫を冷却だけの用途に考えないで、冷凍品を適当な温度にまで上げる役目もする。コチ



ソコチンのアザラシか何かの肉片をしばらく入れておくと適当な堅さにもどっているという所に着想を及ぼす……」

企業戦争ということばは度々聞かされるが、これはどうもわれわれ凡人とは視界が違っていたようである。この戦術は正鵠を得ていたかどうかは詳らかではないが、当然勝算がないと考えられる非普遍的アイデアにも多分の勝算があるという企業の魂を見せつけられた思いがした。現代企業と現代芸術の関係、企業する頭と創作する心は何か関係がありそうでなさそうで……さてはて／＼

## ろう 藤たけた明治美人

藤本ハルミ

△服飾デザイナー△

すべて日本の布を使って、現代と調和するモード・コレクションを開こうと決心したのは、ちょうど桜の花だよりもちらほら聞かれる三月の頃でした。それから約七カ月の間、日本のきものによったく縁の遠かった私は、日本服装史や美術史など片手に素材集めに大半の日をついやしてしまいました。安土、桃山時代の活気のある日本衣裳の美を何とかこのショーの中に生かしてみたいと、心は焦れ

ど、どこへ行けば何が見つかるのかさっぱり解らず、まずは手近な百貨店や呉服屋あさが始まりました。……でも気に入ったものはちっとも見つかりません、どうしたらよいのか……と途方にくれた頃、ふと思いがけず花嫁衣裳の問屋さんを紹介して頂き素材第一号を手に入れました。朱に金の檜垣模様と同じく、黒地に金と朱の亀甲模様の西陣の丸帯、それにほか



藤本さんがデザインした丸帯のツーピース

し綸子に銀糸の縫とりの孔雀模様の優雅な花嫁の打掛……。私は鏡の前でこのすてきな素材を何度も何度も胸に当て、やっと手に入った美しい三点に夢中になってしまいました。

日がたつに従って段々とたのしい協力者が現われて来ました。手織紬を六十糎巾に別織してもらい、古代朱、今紫、柿茶、など美しい素材がぞくぞく集まってきました。染も大巾の縮緬に国宝級の

柄を手描染してもらったり、古いめずらしい紋様をさがして縫とりを入れてもらうというようなことができればじめた頃、街はもうすっかり夏になっていました。

そんなある日、何か面白い掘出物はないものかと、善男善女にまじって京都の北野天神の朝市に出かけ、おんぼろ TENT を張った帯屑屋で藤たけた明治美人を見る想いで松竹梅に鶴の西陣織を見つけた時の嬉しさは、思わず吸いつけられるように立ちつくしたものでした。この丸帯は相当な時代物らしく、実に深味のある立派な織でこの度のショーの作品中その品の良さと豪華さで群を抜きました。

ショーのプログラムにのべましたように「第二次大戦後すっかり生れ変わるうとして惜気もなく古い日本を捨て去ろうとしている現在もう一度心して日本民族が、ある時は実用に迫られ、ある時は無心に、ある時は意慾的に成長させて行った日本独特の美を追求してみよう」と考えこのショーを開きましたが、ずっしりとした重さで迫って来る二千年の歴史の前に、あまりにも小さく微力な私は、まずは、素材集めの段階において、宝の山の入口でうろろうまよっていたような心地がいたします。

でも「明治百年を記念して、日本の古典を探る」と銘うって、こ

のショーをやったことは、私自身日本を見直し、古典への目を開き言葉につくせぬ程の収穫を得ました。

今日よりは明日、明日よりは明後日と、よりよき日本人の衣裳を目ざし努力したいものと願っております。

ローマだより

## 日本女性ブーム

新谷琇紀

△彫刻家△

神戸っ子の皆様お元気ですか。南国ROMAも、そろそろ日足も短かく冬に突入、昼間はまだまだひと頃の夏を想わせる暖かさ、夜は気温もぐっと下って毛皮を持ち出すご婦人もチラホラ。

EMILIO GRECO氏のROMAから  
一〇〇里南にある第二アトリエにて新谷氏



二度目のヨーロッパ旅行から、ROMAに戻って、整理云々している間に早や一カ月余り経ってしまいました。その間、国画会の山本万司氏がROMAに来られました。目下、中西勝氏夫妻ROMA滞在中。四年ぶりに再会、年を取っておられる様子はまったくウカガワレズ、少し白髪が目立つ程度奥様と共に、とてもお元気、懐しい関西弁で喋りまくるのが楽しみたい妹の澤子、映子達も何とかイタリア語を学んで、もう手が掛からぬようになり、結構一人でイタリア人の間にはいつて、ベラベラやっています。外国女性の尻を追うイタリア男性(俗にババガウロという)の多くがウロウロしているROMA、もう放って置いて安心心……。今当地は日本女性がモテテ、モテテ……日本女性がブームを展開しているよう。日本男性がモデルのは一体いつ頃かな……と首を長くしているのは私だけではないでしょう。

今年、日本人観光客が昨年の2倍ROMAにやって来たそうです。アメリカ人にだいぶん、追いついたそうです。日本人は彼等が想像していた以上に行儀が悪いともっぱらの評判。

ホテルでのユカタ姿、ステテコ道路での立小便等々、我々外国にいる日本男子にとって耳の痛い話

です。

十一月に入って、観光シーズンは終わったとはいえ、いまだ街中に観光客はいっぱい……。さすが、観光資源を豊かに抱えている国の名に恥じない貫録ぶり。

東の小国日本から大国アメリカを追いつ越す程の人が外国に出て、外貨不足で日本国が減びるのと違うのかなあ……と心配もさせられる程。こんな中で一人日本人で神戸出身の人が経営しているROMAの中心街スペイン広場横の「東京レストラン」がエビス顔。

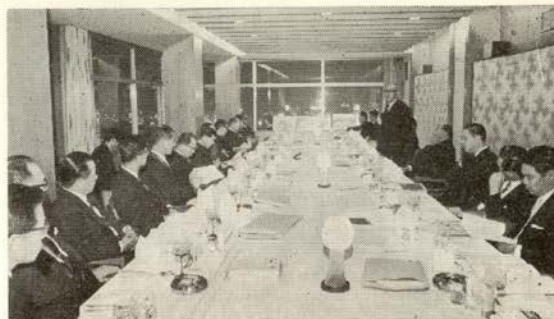
スペイン広場といえば、ヒッピー族のたむろ場として最近には特に有名。それが、この夏以来姿を消してしまいました。

我が家の庭のような感じ(歩いて三分)だった広場も名物が無くなり淋しい。彼等の常用していたハシシュ、マリワナ、LSD、が原因で手入れがあり、今は、ヨーロッパからネパール近辺に移動しているというウワサ。

今年のVINOはブドウ不作であまりよくないようです。ちょっとコクにかけている感じ。ブドウ酒の味にウルサクなりました。それとスパゲッティの味に……。

来年早々帰国(一時帰国)を考えております。神戸のウマイ肉とタコ焼食べたいですね……。お目にかかれるのがとても楽しみです





神戸井植学校と、大阪の井植会長を囲む会の合同例会、北野クラブにて

## ☆ある集い―その足あと

### 神戸井植学校

#### 牛尾吉朗

〈ウシオ工業KK社長〉

神戸港の貨物取扱量は、昭和42年には五八〇〇万トを超えるのです——と原口市長は語る。

十一月二十日、北野クラブで行なわれた神戸井植学校と、大阪の井植会長を囲む会との合同例会での模様である。出席者は、井植三洋電機KK会長、原口神戸市長を含めて、実に26人の盛会であった。淡路国際空港の大プロジェクト

が提案され、井植会長が、その大きな推進力となったのを契機に、当時、神戸JICの関西新国際空港問題特別委員長であった牛尾吉朗（ウシオ工業KK社長）が、井植会長を校長として、親しくその卓越した経営理念に接し、勇気ある若き企業経営者の修練の場としての、神戸井植学校を創設した。これが、昭和43年8月のことであった。

これより先、大阪では若き経済人の集い、井植会長を囲む会が結成されていたが、神戸井植学校では創立当初から、45才が卒業年齢で、入学は30才からという、大阪以上に若さを誇れるものとした。

したがって、その生徒（？）も、実に各年代にわたって、行動的で発言力があり、若さが表面にいきいきと出てくるのが資格とされ現在では定員15名のところ、10名と厳選されている。これが、各人に選ばれたことによる自信を植え、同志的気運を生みだしている。

この学校は、他の団体と違って思考を実質的な行動に移して行くのが目標で、昔の松下村塾神戸版といったところである。そういう気風の中で、これからの日本をみつめなおしていく経済人の育成の場であり、神戸の将来を、考え、語り、地元の地域経済開発なり、地元に着した問題を、神戸はい

かに進むべきかの次元で絶えず研究し、それを各自の能力をきびしく開発する過程で具体化し、行動のレベルに持っていく。これが、井植学校の機動力ともいえよう。

第一期生は、大正13年生まれの角南猛夫氏を最年長に、昭和13年の上島達司氏まで、それに、講師陣として、原口忠次郎神戸市長、金井元彦兵庫県知事、砂田重民衆議院議員、石野信一神戸銀行頭取鈴木栄敬日銀神戸支店長、秋田博正神戸JIC初代理事長の六名と陣容をそろえている。

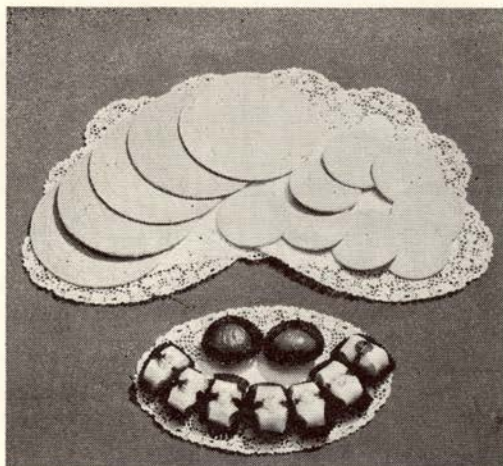
このように、実際に行政・財政を担当している政・財界の豊かな講師陣と、井植校長の絶えず前向きな姿勢が、この井植学校の性格を物語っている。

月に一度の例会を持ち、第一回は、8月17日、砂田重民氏を迎えて、井植学校の方向並びに井植校長の生き方についての校長諮問会第二回は、9月21日、淡路島の井植邸に宮崎助役を迎えての淡路新国際空港への認識を深める集い、10月は、大阪の井植会長を囲む会の見学に運営幹事の牛尾吉朗氏が出かけ、第三回例会として、11月20日、神戸、大阪合同例会を持った。

神戸井植学校は、神戸経済界の起爆剤として、将来につながる大きな発展を約束している。

'69

あけまして  
おめでとう  
ございます



ゴ ー フ ル  
マロングラッセ  
プティゴフル

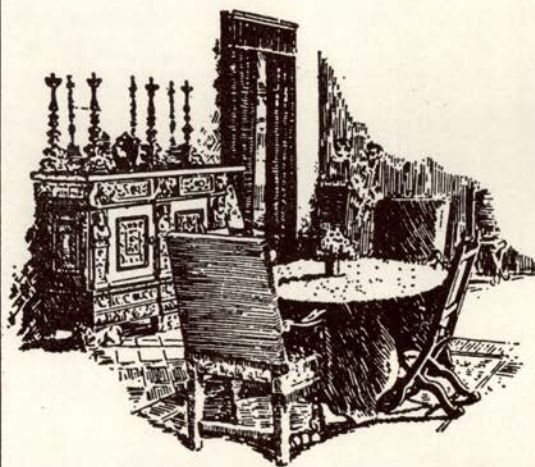


神戸にそだって 70年



元町3丁目 TEL 092412~5  
さんちかスイーツタウン TEL 093455

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

神戸市生田区三宮町三丁目・大丸前・電話神戸(39) 3737 (代表)

東京店・東急百貨店 日本橋店内1階 03(211)0511  
本店(渋谷) 6階 03(462)3180

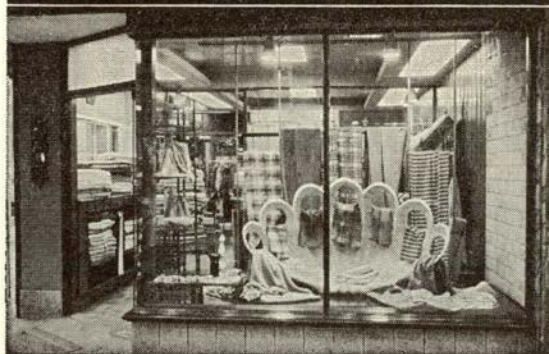




Lady's Shop

*La Mode*

MOTOMACHI KOBE TEL 33 5689



迎 春 1969



マキシンの帽子のおもめは  
全国有名百貨店でどうぞ

婦人帽子

**マキシ**

神戸・トアロード 東京・銀座3-2  
TEL (078) 33-6711-3 TEL (03) 535-5041